

FY23 Q3 決算発表後に多かったご質問とご回答**全体**

Q Q3 は自己株式の取得がありませんでしたが、今後のキャッシュの使い道や株主還元の考え方についてご説明ください。

A 長期成長に資する投資を最優先とし、内部投資に加え、M&A についても積極的に機会の探索をしています。自己株式の取得を含めた資金配分については、必ずしも四半期単位ではなく、年間ベースで投資とのバランスを考慮して判断しています。これまで同様、一定の期間のなかで余剰資金については株主の皆様へ還元する方針です。

Q 中国の景気悪化や、腐敗防止による影響はありますでしょうか。

A 中国の景気悪化については、今のところ大きな影響は受けていませんが、継続的に状況を注視しています。一方、反腐敗運動は、主に内視鏡事業において影響を受けており、こちらも今後の動向を注視しています。

メガネレンズ

Q MiYOSMART(近視進行抑制レンズ) の販売が中国市場を中心に好調とのことですが、他地域への展開はしないのでしょうか？

A 欧州やアジア各国を含む 30 カ国以上で既に販売をしています。依然として中国市場の売上が大きい状況ですが、欧州の一部の国での売上が伸長してきています。一方で、主要市場のうち、米国と日本が未認証のため、引き続き必要な手続きを進めていきます。

コンタクトレンズ

Q プライベートブランド(PB)製品の販売状況はいかがですか？

A 順調に販売を伸ばしており、デ일리レンズ売上において 2 割強を占めています。なお、2024 年 2 月には 4 製品目となる hoyaONE LUMINOUS を発売しました。

Q アイシティの店舗数は今後も増やしていくのでしょうか。

A 10 店舗/年ペースでの新規開店を見込んでいます。

ブランクス

Q 主要顧客の在庫調整はどのような状況でしょうか？また、在庫調整後は需要が大幅増となる見込みでしょうか。

A 主要顧客 2 社のうち、1 社はまだ在庫調整が続いていますが、2024 年 6 月末には在庫調整が概ね完了すると見込んでいます。先端向けの開発活動は安定的におこなわれていると見ていますので、在庫消化完了後は、実需に伴う形で売上が増加することを期待しています。

Q EUV 向けの位相シフトマスクや High-NA 向けマスクブランクスの出荷タイミングはいつ頃を想定していますでしょうか。

A 2nmより導入予定の位相シフトマスクは、25 年下期に量産の見込みです。現状、初期的な研究開発用に

少量出荷していますが、本格的な出荷はもう少し先になると考えています。一方、High-NA 向けマスクブランクスは、顧客に対して製品スペックの提案をおこなっているような段階であり、出荷時期は未定です。

- Q 2024 年は EUV 露光装置の出荷台数がやや踊り場となるようですが、ブランクスの需要に影響はありそうでしょうか。
- A 露光装置がマスクやブランクスを必要とする点は間違いありませんが、近年においては EUV 露光装置の出荷台数とブランクスの需要の相関性がやや薄れてきており、については台数の増減がダイレクトに影響する可能性は低いと考えています。

HDD 基板

- Q Q3 の売上上振れの要因には、どのような背景があるのでしょうか。また需要回復見込みはいつになりますでしょうか。
- A ハイパースケーラーにおける在庫消化が想定以上に早く進み、大幅に売上が回復しました。既に最悪期は脱したと見ており、2023 年 10-12 月における 3.5 インチ基板売上をベンチマークに、四半期によって需要が多少上下しつつも回復していくと考えています。
- Q 主要顧客が次世代技術 HAMR(Heat-assisted Magnetic Recording)を搭載した製品の発売について発表していますが、これによる当社 HDD 基板事業への影響はどのようなものとなりますでしょうか？
- A 最終製品（HDD）の状況については、HDD メーカーの発表内容等を確認いただきたいと思います。同技術の製品化にはガラス基板が必須であるため、ガラス基板を採用する製品や HDD メーカーの裾野が広がることを期待しています。

映像

- Q Q3 の業績が好調でしたが、要因は何でしょうか。
- A ミラーレスカメラの新製品発売が多かったこと、および、コロナ後の旅行需要回復に伴い、ミラーレスカメラ向けの交換レンズ需要が堅調だったことが主因です。

以上

将来予測に関する記述

当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。

歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、現在問題となっている新型コロナウイルスをはじめとする疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先:h-ir@hoya.com